**防災・感染症 BCP（事業継続計画）作成の考え方と留意点**

**Q　3日間の停電・断水を前提とした大規模災害時に、職員の出勤率を50％としてイメージ**

（今日の勤務表をみて、職員を上から半分削った場合、残りの半分の職員に、今日一日行った業務との振り返りから、何ができるか・できないか論議してください。）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| **形態** | **利用者** | **職員** | **業務** | **優先順位** |
| **施設** | 移すのは困難だが、どこに?Q　フロアー、階を具体的に重度…軽度… | Q　被災エリアの確認Q　どこに住んでいるのか?Q　同居する小さい子どもの有無Q　同居介護老親の有無●名簿等リスト化を | **食事** | 1番に優先…2番に優先… |
| **排泄** | 1番　…2番　… |
| **入浴** | 1番　…2番　… |
| **その他（医療）** | 1番　…2番　… |
| **在宅****訪問** | 2：8の原則8割の利用者を切り捨てる?●名簿等リスト化を | 同上 | **同上****（家事を加える）** | 同上 |

※　通所系（デイサービス）は、「在宅」の対応に準じながら、短期なり入所に一時的対応として切り替える。

※　有事には、通常の感覚や発想での対応は不可能に近い…。安定し、平時の期間が長くなればなるほど、リスクの意識は反比例して下がる。

例）…救急車をたえず呼んでいた時ほど、救急時対応は優れてくる。

　　…食事中の誤嚥が頻発していないいま、それを経験したことがない、風景を見たことがない若手スタッフに、緊急時の対応が可能か…?

　　…過度なクレームや苦情についてもそう。「ありがとう。」「いつもお世話になっています。」の言葉が当たり前になってくると、クレームや苦

情に対して繊細になり過ぎてしまう…

**防災・感染症 BCP（事業継続計画）作成の考え方と留意点**

**Q　事業所内でクラスターが発生。職員の出勤率を50％としてイメージ**

（今日の勤務表をみて、職員を上から半分削った場合、残りの半分の職員に、今日一日行った業務との振り返りから、何ができるか・できないか論議してください。）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| **形態** | **利用者** | **職員** | **業務** | **優先順位** |
| **施設** | ●区域分け（ゾーニング）Q　フロアー、階を具体的に--------------------●隔離（コホーティング）Q　フロアー、階を具体的に | Q　同居する小さい子どもの有無Q　同居介護老親の有無Q　基礎疾患のある職員把握●名簿等リスト化を（どの利用者群を、誰が現実的に夜勤まで含め介助できるのか?） | **食事** | 1番に優先…2番に優先… |
| **排泄** | 1番　…2番　… |
| **入浴** | 1番　…2番　… |
| **その他（医療）** | 1番　…2番　… |
| **追加業務** | 追加される業務の想定 |
| **在宅****訪問** | 2：8の原則（8割の利用者を切り捨てる‥?）●名簿等リスト化を | 同上●名簿等リスト化を（選別した利用者を、誰が現実的に訪問・見守りできるのか?） | **同上****（家事を加える）** | 同上 |
| **追加業務** | 例）居宅を通じて、他の訪問介護事業所への緊急依頼等 |

※　通所系（デイサービス）は、「在宅」の対応に準じる。

※　有事には、通常の感覚や発想での対応は不可能に近い…。安定し、平時の期間が長くなればなるほど、リスクの意識は反比例して下がる。

例）…救急車をたえず呼んでいた時ほど、救急時対応は優れてくる。

　　…食事中の誤嚥が頻発していないいま、それを経験したことがない、風景を見たことがない若手スタッフに、緊急時の対応が可能か…?

　　…過度なクレームや苦情についてもそう。「ありがとう。」「いつもお世話になっています。」の言葉が当たり前になってくると、クレームや苦

情に対して繊細になり過ぎてしまう…